

オーナーズエンジニアリングデザイン

ALE corporation

*SCM Build up Support
and
Engineering
Procurement
Construction Management*



株式会社 ALE

200X

〇〇の「新たなビジネス戦略」を実現

営業戦略をサポートできる「新ロジスティクス・システム」を構築

書籍の**在庫の集約化**を図り
一元管理する

- 文庫、新書、一般書籍およびコミックの在庫の最適化を図り、版元のSCMを実現する
- 現在、分散保管されている書籍とコミックを集約して効率的な一元管理の運用を目指す

「流通センター」の能力を
最大化する

- 高い生産性の追求を行い、と最適な保管機能の追求と戦略性のある改装の実現を目指す。
- 生産性の高いオペレーションの実行

流通**施設を統廃合**して
アセットの合理化を図る

- 現在、分散している流通施設(センター、倉庫、人)を統廃合して、運用および費用の合理化を図る。
- オフバランス化とノンアセットのマネジメントを指向する。

ロジスティクス・システムの「改革」

- 将来の姿を見定めたロジスティクス・システムの実現
- 従来の仕組み、概念を脱却(リセット)し**斬新な発想の採用**
- 合理的な企画での**改革**を推進

「費用対効果」の最大化

- コスト管理の徹底を図り、費用の最小化、価値の創出効果を最大化

「合理的」かつ「柔軟」な ロジスティクス・システムの構築

- ○○におけるビジネスの全体最適を目指し、ビジネス環境の変化に対応できる運用システムを構築

「運用」を支える「ITシステム」と 「物流施設」

- ビジネスの運用を主軸に据えて、その運用を効率化するためのITシステムと物流施設(設備)の構築

「要員」「資産」「資金」のリソース の最大活用

- 現有のリソースを合理的に最大活用を図る
- **企業価値の向上**
- **顧客価値の向上**

「見える化」と「オープン」化の実現

- 在庫、コスト(原価)、生産性などの**「見える化」**による管理体制
- ITシステム、物流施設(設備)は汎用性(オープン)をもちながら、○○の競争力の高いオリジナルなシステムを構築

「最重要プロジェクト」としての
ミッション

- ロジスティクス・システムの再構築は、投資額や将来の出版ビジネスを支える体制での「最重要プロジェクト」と位置づけるべきである

「リーダーシップ」と「コントロール」
の必要性

- このプロジェクトを成功に導き、新体制のもとでの運用を実現するためには、〇〇のプロジェクト・オーナーとしての「明確なリーダーシップ」と「的確なコントロール(マネジメント)」が要求される

専任「プロジェクトチーム」による
推進

- このプロジェクトの推進には、専任のスタッフによるプロジェクトチームを発足させて、PMO(プロジェクト・マネジメント・オフィス)のみではなく現実の「実務」の遂行に邁進する体制が必要である

「オーナーズ・エンジニアリング」
の実践

- 強力な推進は、プロジェクトチームが主体(本体)となり、プロジェクト・オーナーとしてエンジニアリングを実践する(間違ってもベンダー主体のエンジニアリングとしないことが最も重要)
- ロジスティクス・テクノロジーを持ったチームづくりが必須である

「パートナー」との共同推進

- 推進・実行は専門的なノウハウと実務者としての経験が必要となり、高度なプロのパートナーによるサポートは必須である

〇〇(発注者)のブレインとして
改革プロジェクトをサポート

- ロジスティクス戦略のアイデアおよび構築の企画・立案・策定を〇〇の立場で実行する**ブレイン**が求められる
- パートナーは、経営上の一大事業となるロジスティクス改革を完遂するためのノウハウ、専門知識を提供して最大効果を発揮する

〇〇(発注者)の業務への
「量」と「質」のサポート

- ロジスティクスの大型DC構築等の経験をもち、テクノロジーと高い意識を持った人達を提供し、当プロジェクトを円滑に遂行する

「中立性」と「透明性」の
一貫保持体制

- パートナーは、プロジェクトを推進して〇〇に最大メリットを提供することを目的としながら中立的、かつ透明性を一貫して保持する機能が求められる
(コスト算出、評価、仕様確定、ベンダー管理、等々)

合理的なコストを実現する
マネジメント

- 戦略策定～設計～実行を行い、さらにプロジェクト運用におけるコスト算定(経営資産)とベンダー管理としての評価や査定を実行し、それらをオープン化する
- コストの適正化、納期、品質の保証と管理を実現する

発注プロセスのあり方を構築して
ライフサイクルを確立

- 〇〇で全般(企画、設計、施工、検査、運営)にわたり中立性と透明性のある発注プロセスを構築する
- 自社(〇〇)のロジスティクス・システムのライフサイクルを確立する
(全体としてのライフサイクル、H/WとS/Wのメンテナンス等々)

- I プロジェクトの「企画・構想」「設計」～「実行」・・・
- II 運用目標を実現する「**運営**」を総合的に遂行します・・・

オーナーズ・エンジニアリング
 L-プロバイダ

企画・構想・エンジニアリング プロジェクト・サポート	コストマネジメント	実行マネジメント	運営マネジメント
<ul style="list-style-type: none"> ● OOのビジネス戦略を実現するロジスティクス構想の創造 ● 構想実現に向けたL-エンジニアリング ● 運営するための新たな思想・体制の創出 ● 統廃合を目指したアセット・マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> ● 費用対効果と予算設定 ● トータルな予算管理と実行サポート ● マルチベンダーの全体コスト管理 ● プロジェクト全体のコスト管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンセプトにもとづく基本設計に適合した運用システム構築 ● トータルなエンジニアリングの実行管理 ● 品質・性能検査、移行、教育、保守までの一貫したサポートのリーダーシップと推進 ● 運用システムの保証 	<ul style="list-style-type: none"> ● 運用システムの実務オペレーションの実行と体制構築 ● L-プロバイダとして最良の運営を行い合理的なコストで提供を続ける ● 実務者(L-プロバイダ)としてOOのビジネス戦略における「あるべき姿」を継続的にサポート ● 将来的の変化に対応した柔軟な運用、拡張統合のマネジメント

I オーナーズ・エンジニアリング

Phase-1

Phase-2

II L-プロバイダ

Phase-3

プロジェクト総合マネジメント

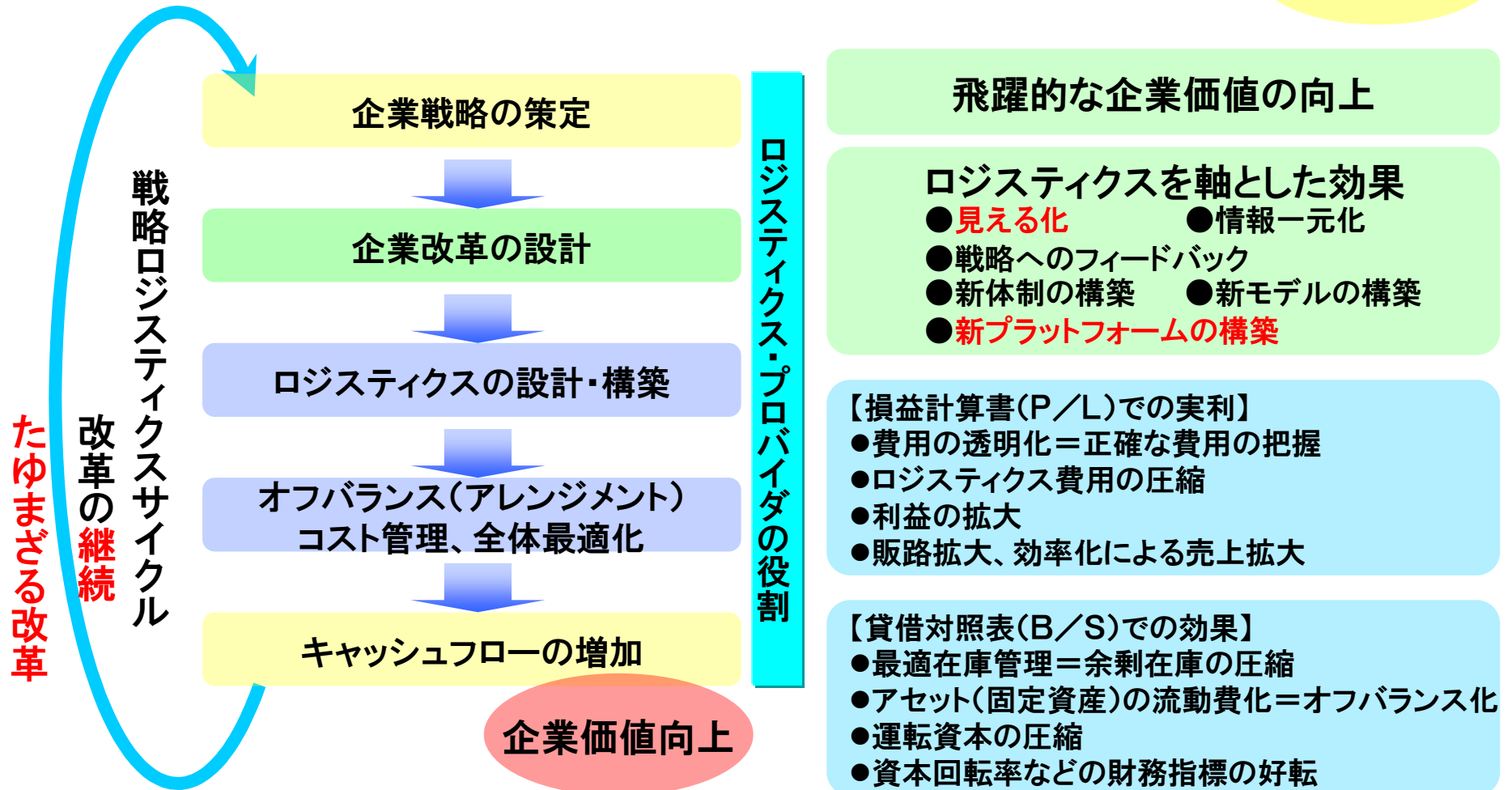
- OOのビジネス戦略を実現するための「**ベスト・パートナー**」としてプロジェクトを推進する
- 企画・立案・設計・発注・実行の全ての段階(フェーズ)におけるOOのプロジェクト・マネジメントを遂行する
- 新しいロジスティクスを運用するための「体制づくり」と責任をもった「**運営**」を遂行する
- ロジスティクスの「運営」では、「さらなる改革をサイクル」させてOOの「企業価値」の向上に貢献する

■ キャッシュフロー経営の実現 → 透明性・オフバランス化・IR推進

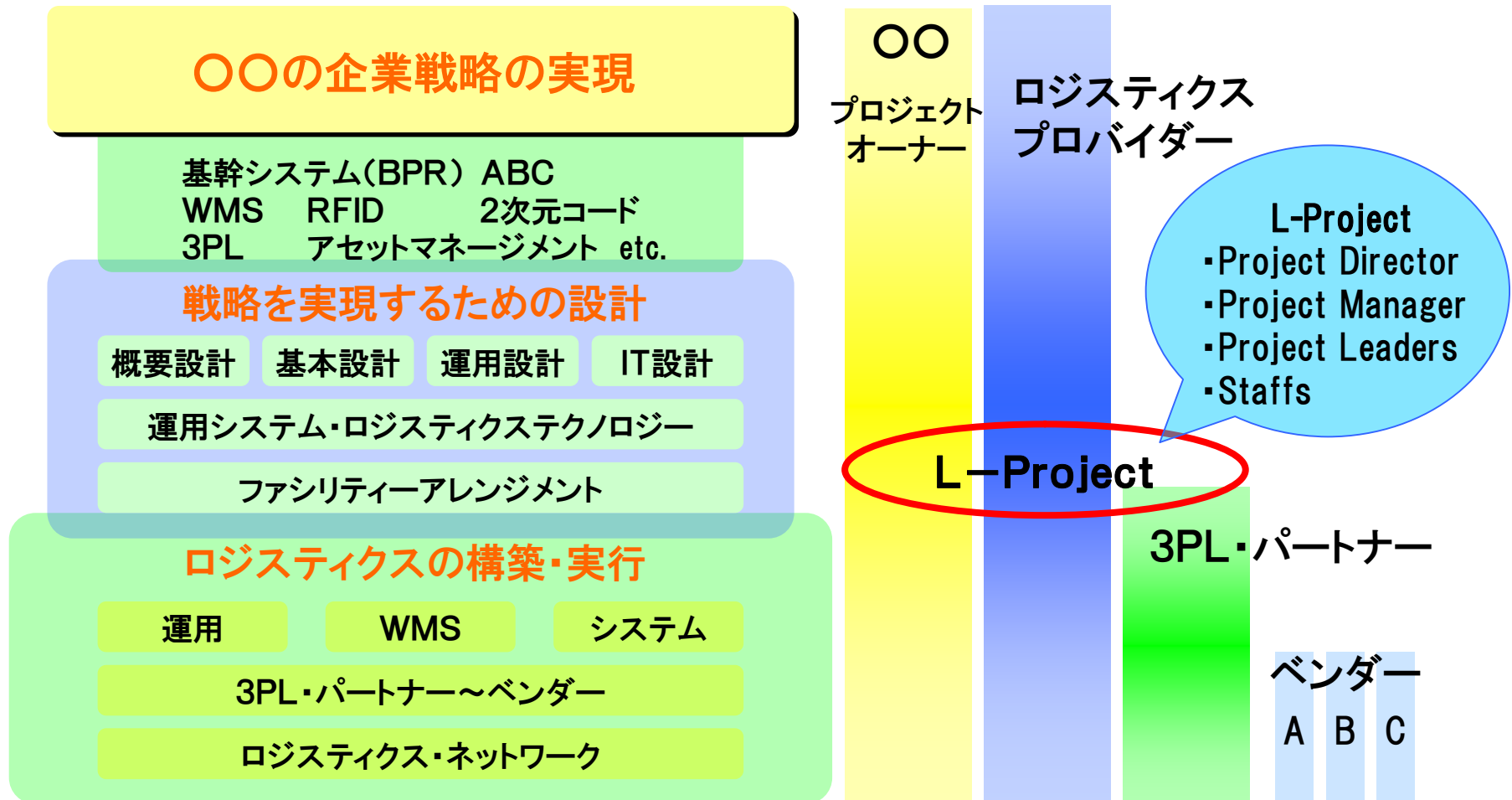
価値の効果

■ 企業戦略の実現 → 企業価値の最大化・SCM・ロジスティクス戦略

価値の創造



- 戦略をロジスティクスに展開する「組織」と「知恵」
 - 計画を遂行する「体制」と「実行力」と「強い意志」
- 強力なロジスティクス推進者達
(プロジェクト体制)

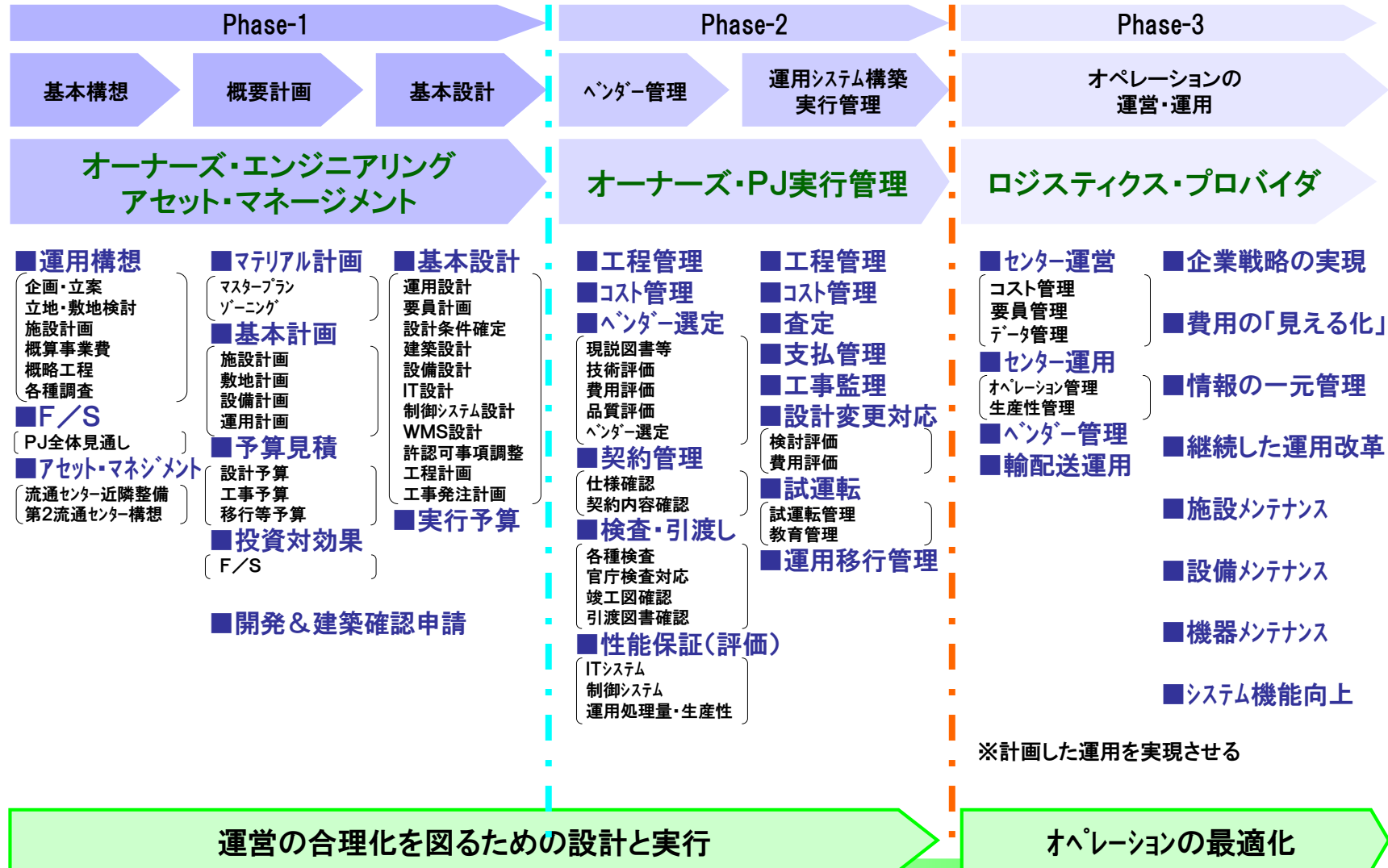


プロジェクトの実行ステップ(内容)

ALE corporation

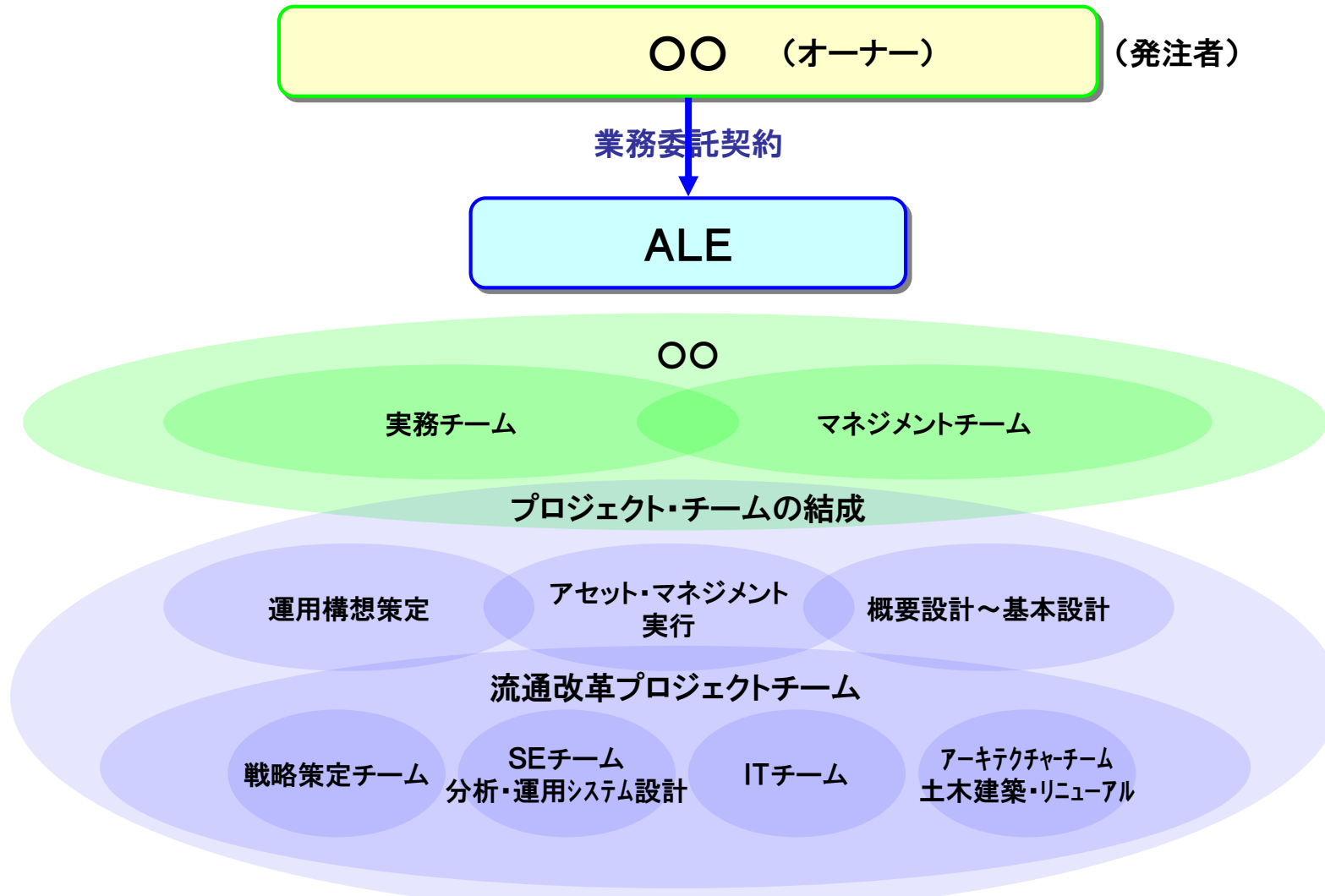
実行段階

ALEの主な役割(役務)

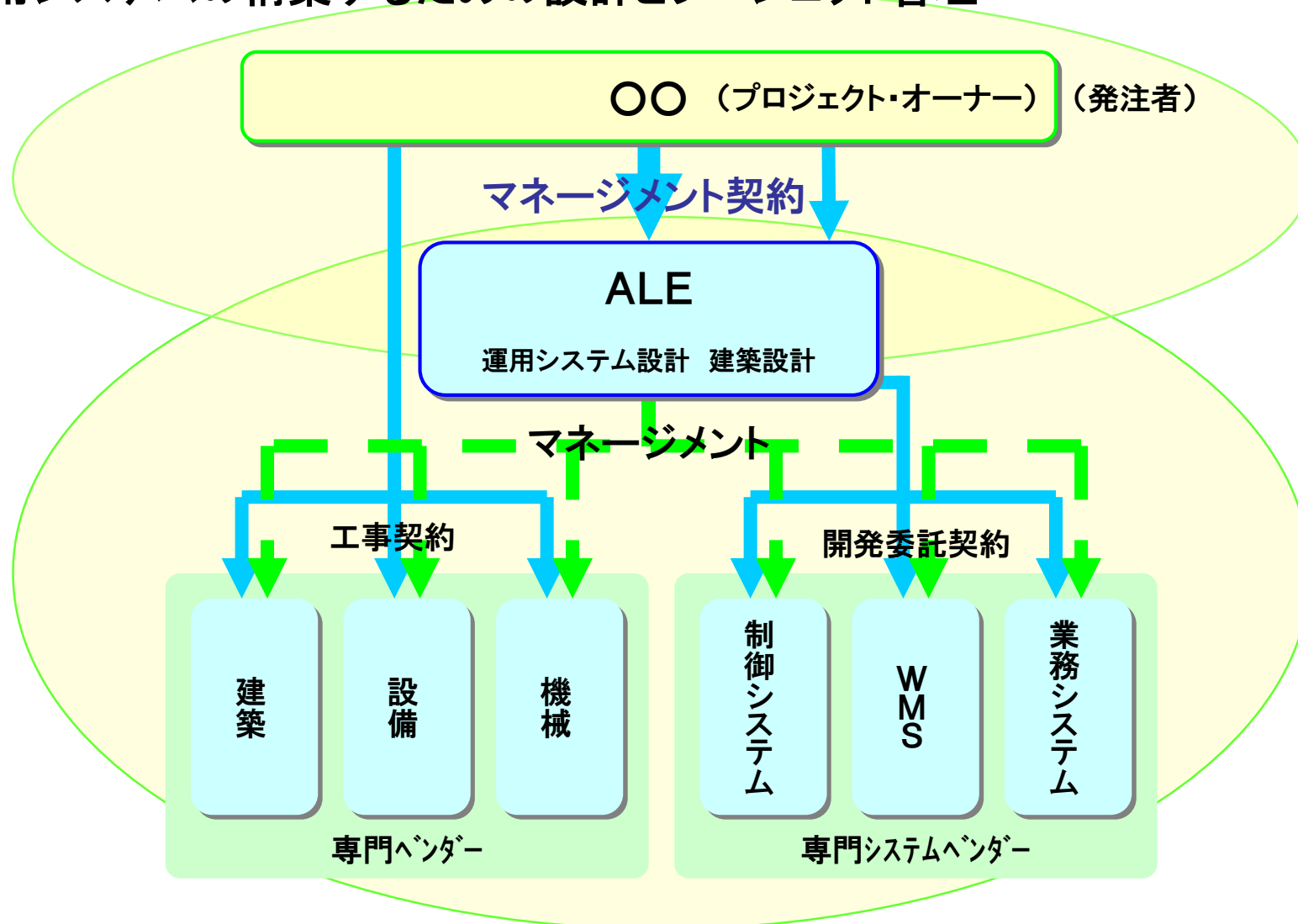


ITシステムの構築とその効率的な運用サポート

運営の合理化を図るための設計と実行

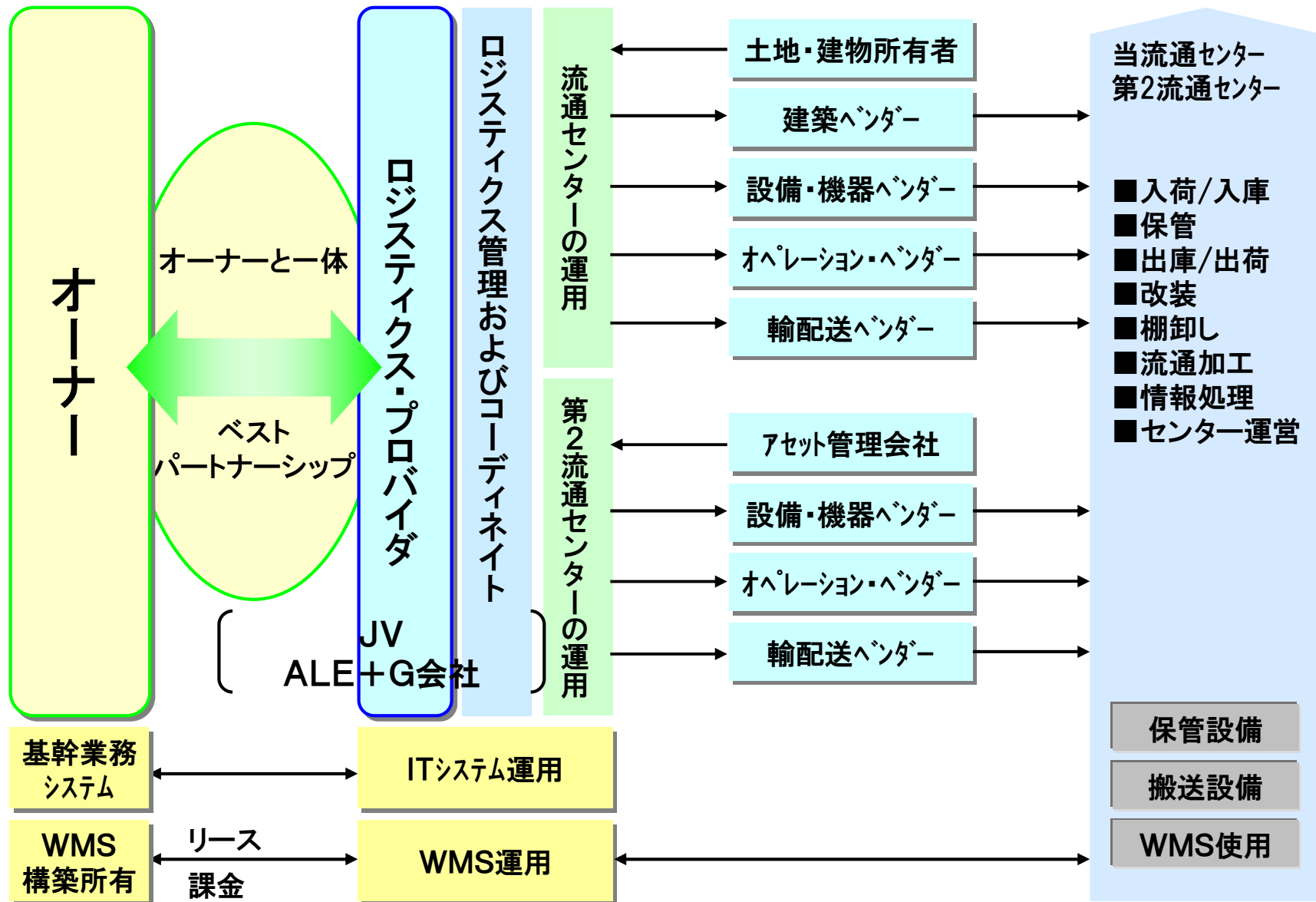


運用システムの構築するための設計とプロジェクト管理

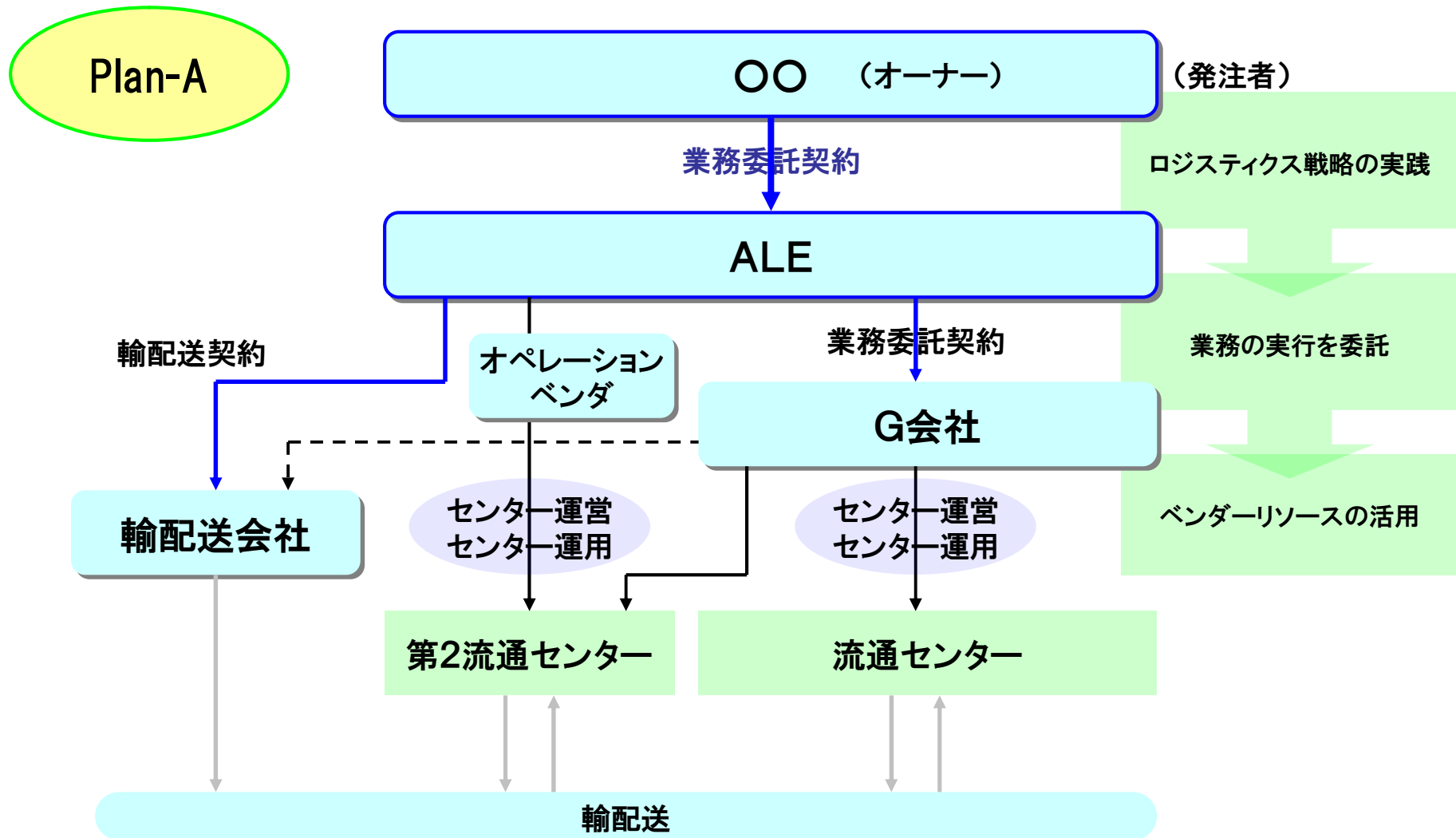


Lープロバイダの運用スキーム

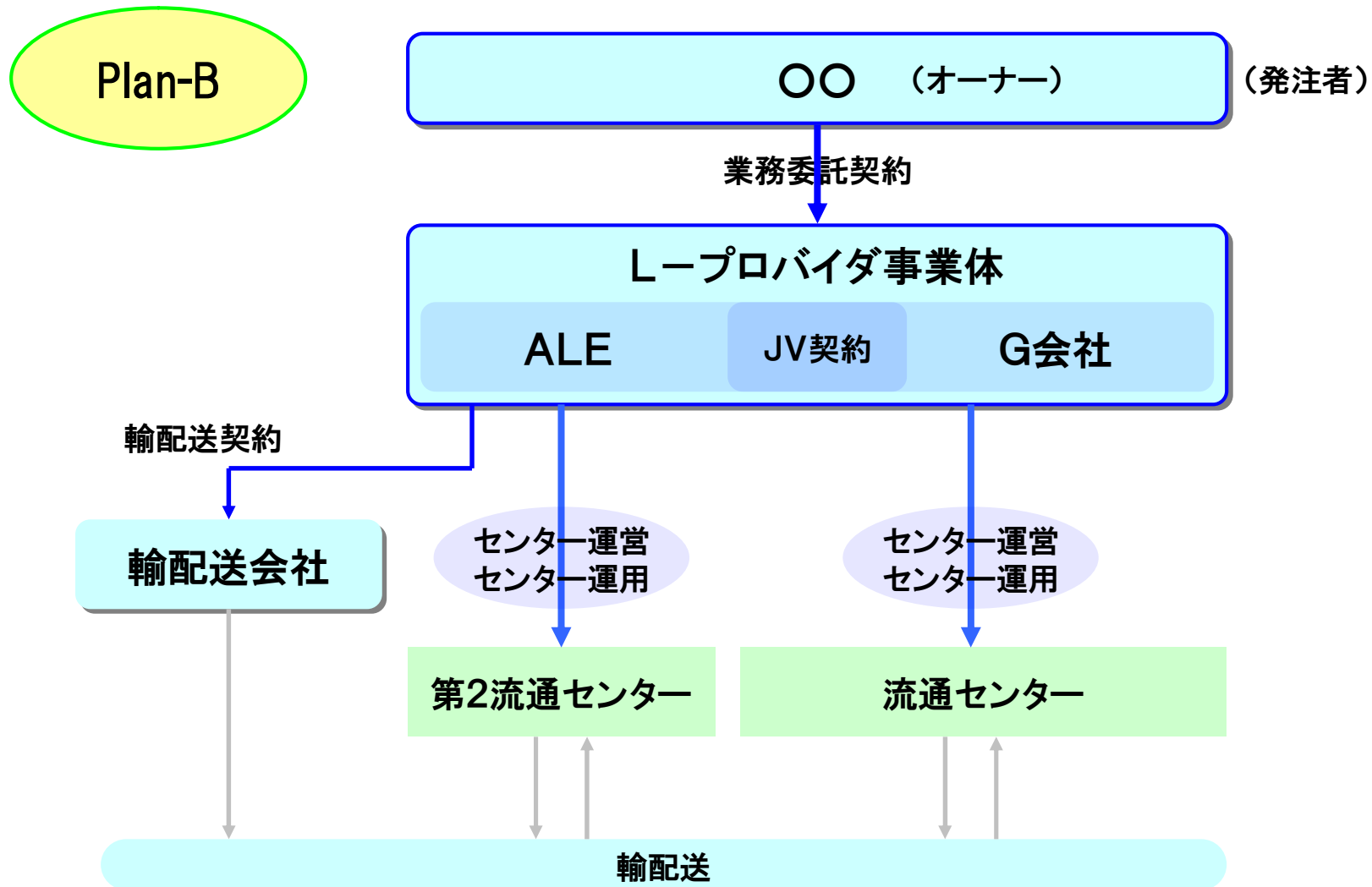
ALE corporation



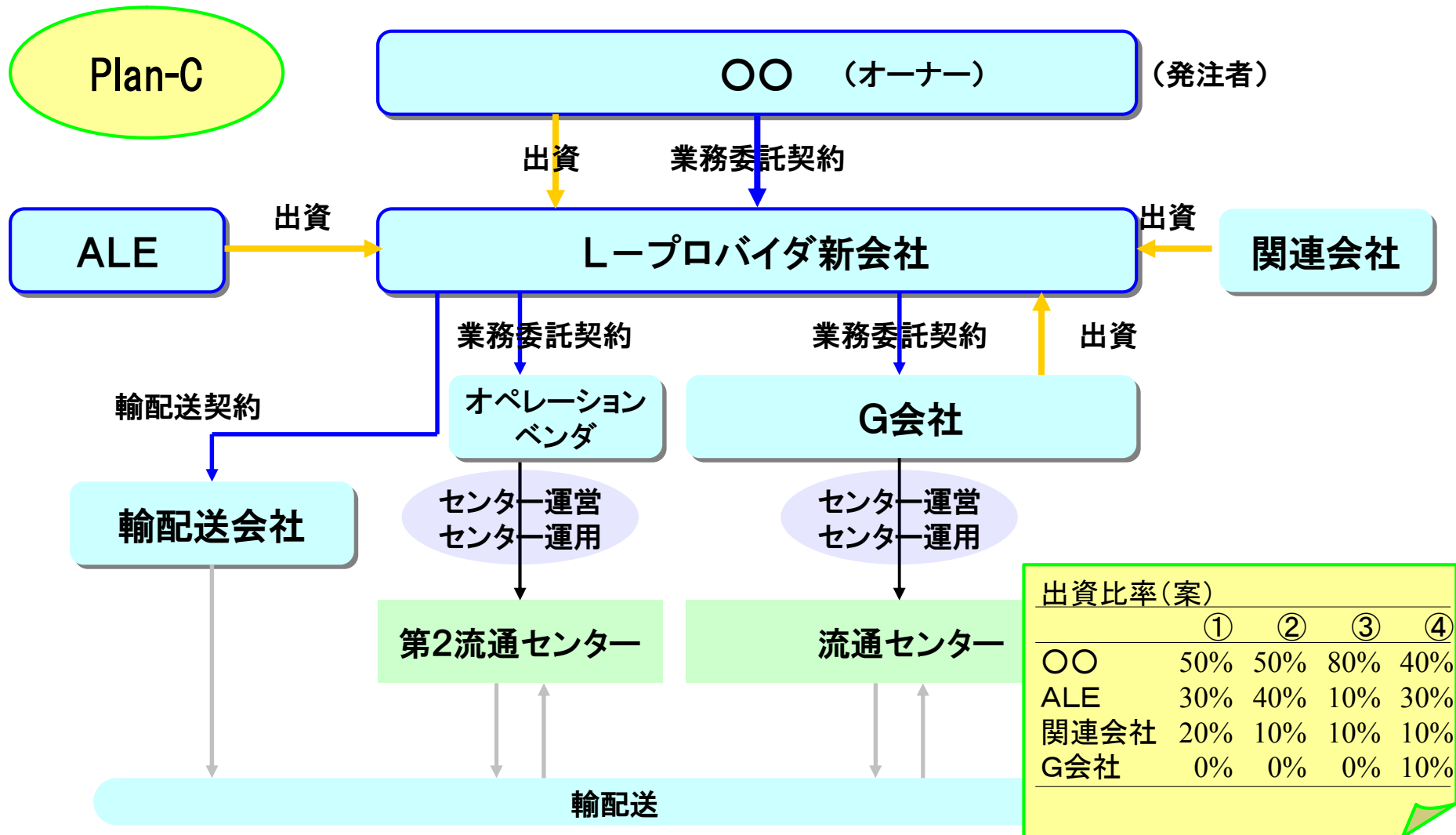
プロジェクト実行を受けて、オペレーションの最適化を実践する



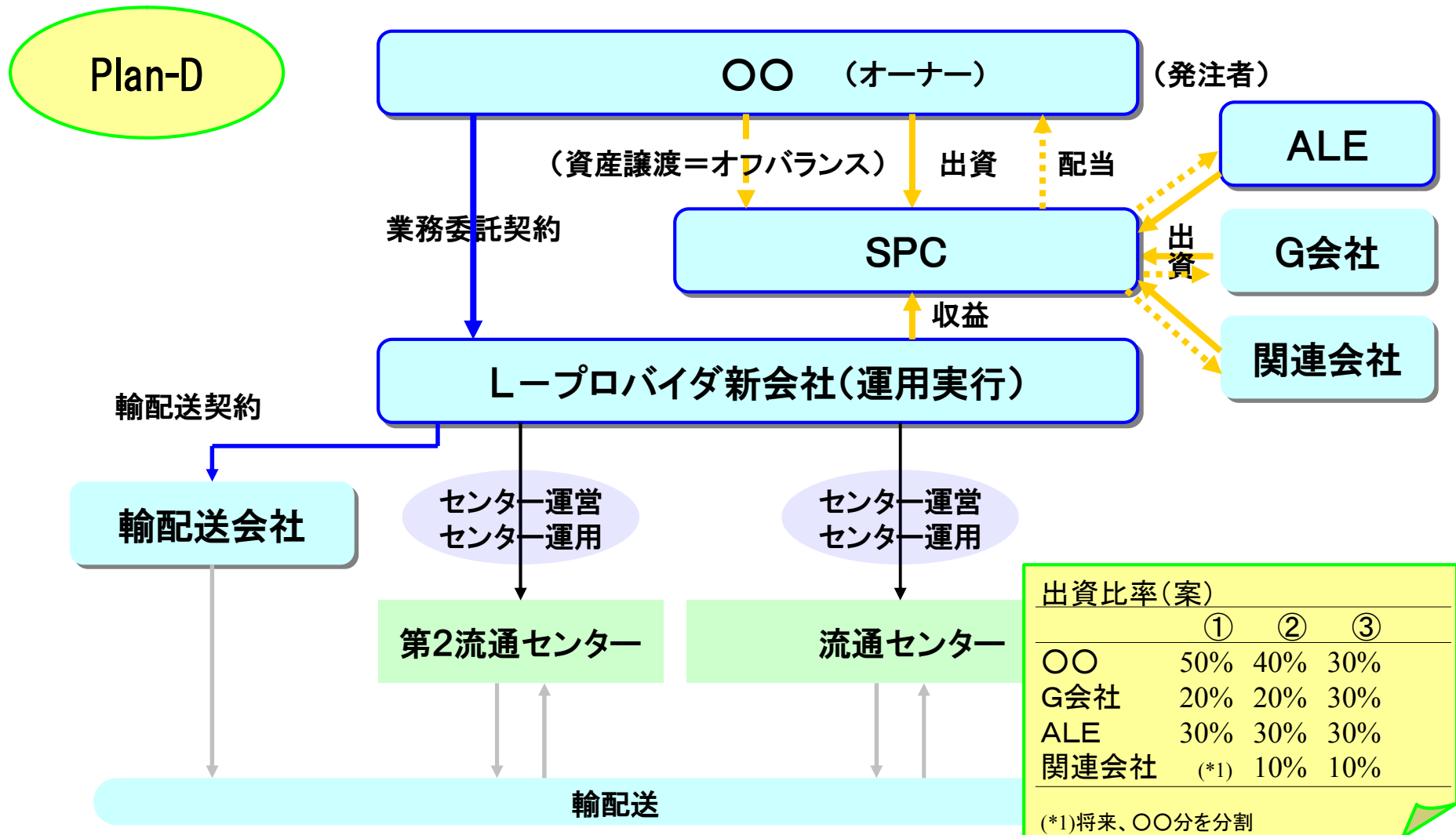
資本提携、新会社設立をしない現状の企業連携で最適な運用体制を構築する



共同出資によりロジスティクス専門の新会社を設立する

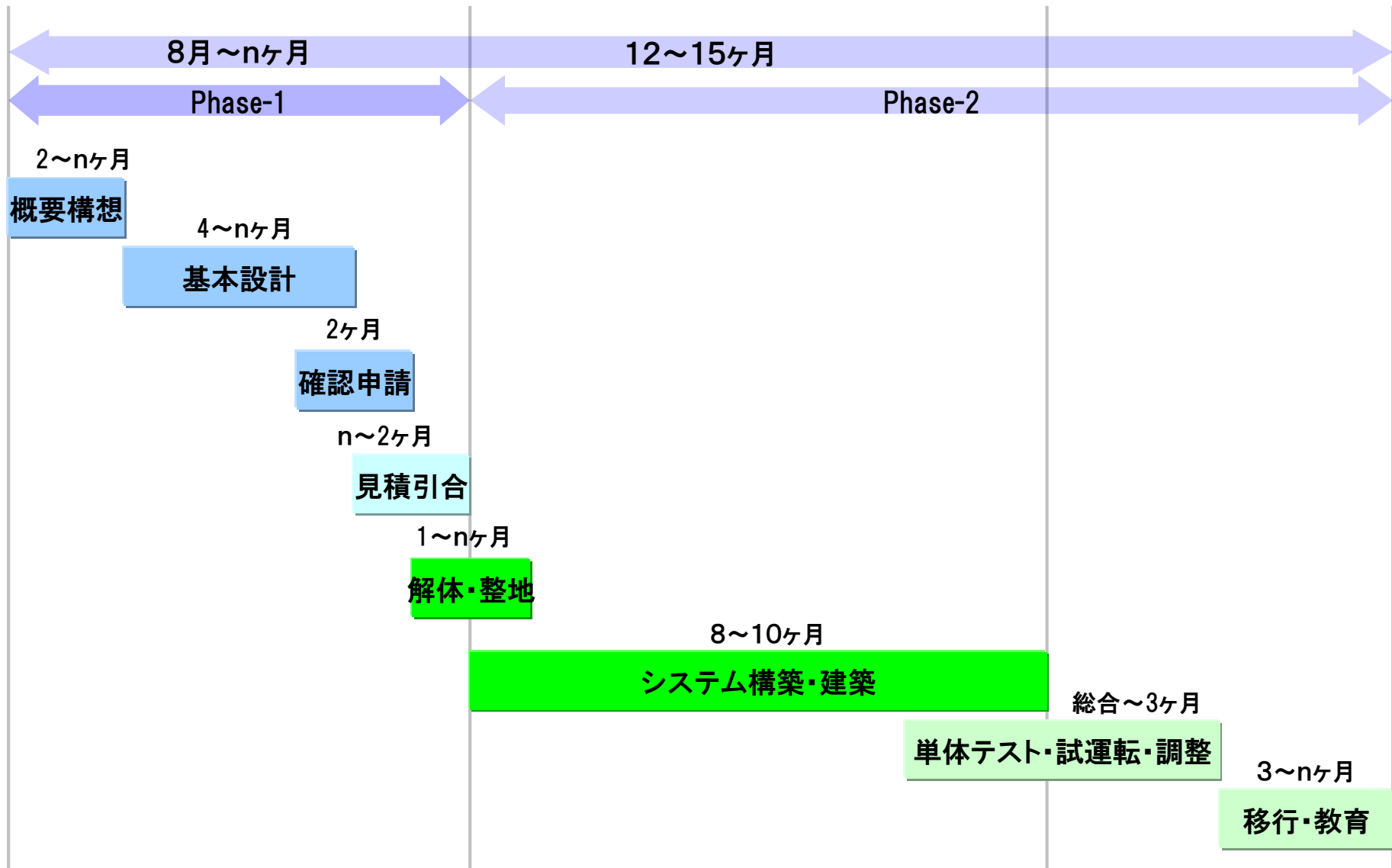


資本調達によりSPCを設立して、ロジスティクス專業新会社を運営する



プロジェクト工程(案)

ALE corporation



- 本資料についてのお問い合わせは、弊社ホームページ係あてにご連絡ください。

E-Mail : info@adv-logi-eng.co.jp

電話番号 : (03)5652-8627

著作権・引用・転載について

1. 著作権等

- コンテンツに関する著作権及び商標権その他知的財産権は、株式会社ALEに帰属します。
- このため、閲覧者は、弊社ホームページにより提供されるコンテンツの全部又は一部を、株式会社ALEの事前の承諾なしに、転載、複製、出版、放送、公衆送信等その他著作権等を侵害する行為を自ら行うことはできないとともに第三者に行わせることはできません。

2. 引用・転載について

- コンテンツの転載を希望する場合は、転載する内容、利用方法を株式会社ALEに申請し、許可を受ける必要があります。
- お手数ですが、下記事項について、利用者と利用内容について必ずご報告をお願いします。
(貴社名※、部署、役職、氏名※、TEL、E-Mail※、利用内容※) ※必須事項